

- 収量コンバインで得られた収量データを産地内の生産者間で共有・分析することにより、翌年以降の肥培管理等を改善。

経営上の課題

肥料費高騰により経営費の負担が増大する中、生育状況や作業進度など高度な営農管理が求められている。
一方、経験豊富な役員の引退を控え、現場で培われてきた営農技術や知見の継承が困難。

データ活用による可変施肥と営農管理の高度化を図り、経験値を可視化して技術継承が可能な体制を構築する必要

申請者：
株式会社みずほ（北海道北竜町）

対象品目：
水稻

スマート農業技術：
収量コンバインによるデータ取得
栽培管理システムによる生育予測

新たな生産方式：
収穫作業及びリモートセンシングで得られたデータを共有・分析し次期作の肥培管理（可変施肥）に活用

活用予定の支援措置：
日本政策金融公庫の長期低利融資
補助事業の優遇措置

計画の概要

スマート農業技術

収量コンバイン



収量・水分・タンパク率・
穂重等のデータを取得

栽培管理システム



栽培管理システムによる
生育診断データ等の活用

新たな生産方式

データの共有・分析

生産者間で取得したデータを
共有・分析し、肥培管理等を改善